

福島県民謡連盟

エ 公開曲目 福島盆踊(福島市)糸取り唄(天栄村) 田植唄(西会津町)田植唄(白河市)酒屋唄(会津若松市)とこせ踊(いわき市)土搦唄(会津若松市ほか)根宿盆踊(矢吹町)田島盆踊(田島町)長持唄(新鶴村)長沼(二本松市)下郷松坂(下郷町)会津松坂(喜多方市ほか)餅搦唄(会津若松

市ほか)会津大津絵・旧節(本郷町ほか)会津大津絵・新節(本郷町ほか)会津磐梯山・旧節(会津若松市ほか)会津磐梯山・新節(会津若松市ほか)

オ 観覧者 約 1,000名

⑦ 民俗文化財地域伝承活動費助成

県指定無形民俗文化財の地域伝承活動事業に対し、県費助成を行った。

事業区分	補助事業者	名称	種別	事業内容	金額			
					総額	県	市町村	保護団体
民俗文化財地域伝承活動	古寺山自奉楽会	古寺山自奉楽	重無 民文	後継者育成・衣装置補修	千円 500	千円 250	千円 10	千円 240
"	白河天道念仏さんじもさ踊保存会	関 辺 の さんじもさ踊	"	記録作成・衣装新調	700	350	250	100
"	棚 倉 町	八槻都々古別 神社の神楽	"	"	900	450	450	0
"	冬木沢空也光陵会	冬 木 沢 の 空 也 念 仏 踊	"	後継者育成・記録作成・衣装新調	700	350	175	175
"	喜 多 方 市	上三宮三島神社 の太々神楽	"	後継者育成 記録作成・衣装新調	713	350	363	0
"	川 内 村	川内の三匹獅子	"	記録作成 後継者育成・衣装補修	740	350	350	40
		合計 6 件			4,253	2,100	1,598	555

(5) 銃砲刀剣類の登録状況

美術品もしくは、骨とう品として価値のある古式銃砲や、刀剣類の登録を行うため、次のとおり審査会を開催した。

① 登録審査委員

平原 松夫、宇井 正三、丹治 金次郎

② 登録審査会

期 日	会 場	鑑定数	不適格数	登録数	左の内訳		審査委員
					刀剣	銃砲	
5月27日	会津若松合同庁舎	105	6	99	97	2	平原、宇井、丹治
6月24日	いわき合同庁舎	68	11	57	54	3	宇井、丹治
7月22日	県 庁	49	8	41	40	1	平原、丹治
9月22日	会津若松合同庁舎	66	9	57	56	1	平原、宇井
12月16日	原 町 合同庁舎	70	18	52	51	1	平原、宇井
1月27日	郡 山 合同庁舎	140	7	133	122	11	宇井、丹治
2月24日	県 庁	72	9	63	61	2	平原、丹治
計		570	68	502	481	21	

2 埋蔵文化財保護事業

(1) 遺跡調査体制

近年の急激な開発事業に伴う遺跡の保護保存と、発掘調査に対応するため、調査体制の強化に努め、(財)福島県文化センター遺跡調査課に逐年増員を行い、昭和57年度は26

名の専門職員を確保した。内訳は、文化センター職員14名(内嘱託2名)・出向職員12名である。

〔(財)福島県文化センター遺跡調査課職員数〕

年 度	52	53	54	55	56	57
人 員	5名	9名	15名	20名	23名	26名

(2) 開発事業地内遺跡の保護対策

大規模開発事業地内の遺跡の保護は、(イ)遺跡の所在を明らかにする。(分布調査)(ロ)工事等で遺跡が破壊されないように起業者側と保護対策を協議する。(事前協議)(ハ)工事実施上やむを得ず遺跡の現状が失われる場合には、事前に発掘調査を実施して記録保存を行い、報告書を刊行する。(発掘調査)という三段階がとられる。

① 分布調査

開発地内の詳細分布調査を行い、遺跡の保存対策の資料とするもので、表面調査(踏査)、試掘調査に分けられる。

表面調査は、東北横断自動車道予定地内(猪苗代町～会津坂下町)34km(約1,400ha)、相馬総合開発計画予定地内(約800ha)について実施した。

試掘調査は、国営母畑事業区内30遺跡、国営矢吹事業区内14遺跡、公団営阿武隈中部第二地区内36遺跡、真野ダム建設地内14遺跡、計94遺跡の試掘調査を実施した。

② 開発関係機関との保存協議

昭和57年度は、継続協議を含め次の諸機関と埋蔵文化財について保存協議を行った。

国営総合農用地開発事業母畑地区・矢吹地区、広域農業開発事業阿武隈中部第1地区・第2地区、会津農業水